



NIE 教育に
新聞を

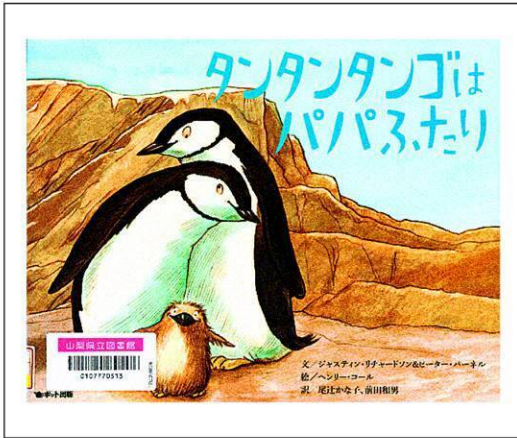
4

小学1・2年生向け

タンタンゴはパパふたり

ジャスティン・リチャードソン&ピーター・パーネル文
ヘンリー・コール絵 尾辻かな子、前田和男訳

アメリカのニューヨークにあるセントラル・パーク動物園に、ロイとシロという男の子のペンギンがいました。他のペンギンが男女でカップルになっているのに、2羽はいつも一緒に泳いだり、歌ったりして、



とても仲良かったです。ある日、2羽は他のカップルたちをまねて、石を集め、巣を作り、一緒に眠るようになりました。そして卵に似た形の石を持ってきて、かわるがわる温め始めたのです。飼育係のグラムジーさんが石の代わりに、産み落とされたまま放っておかれた卵を2羽の巣に入ると、ある日「ピ、ピッ、ピー、ピー」と鳴き声が聞こえ、赤ちゃんが誕生しました。2羽はタンゴと名付けられた赤ちゃんに、餌をやったり、鳴き方を教えます。(ポット出版 1650円)

小学3・4年生向け

こどもジェンダー

シオリーヌ著 松岡宗嗣監修 村田エリー絵

皆さんの住む町や市のパートナーシップ制度や、同性カップルの結婚を伝えるニュースを聞いたことがありますか？「オトコノコがこいをしてすきになるのはオンナノコだけだよ」と疑問に思ったり、「オンナのひとどうしはくっこんできるの？ふたりともウェディングドレスきたの、みたの！なんかへんなかんじ」と思い、どう考えればいいのか迷ったりしたときに、この本を開いてみましょう。助産師のシオリーヌさんからの「こうかんがえてみるのはどうかな？」というアドバイスが書かれ、「オトコノコがオトコノコをすきになることもある」「どっちもすきになる」「だれもすきっておもわない」など、いろいろな「好き」という気持ちが紹介されています。(ワニブックス 1540円)



図書館へ



いろいろな「好き」のかたち

昨年11月、山梨県はLGBTQなどの性的少数者のカップルをパートナーとして認める、パートナーシップ宣誓制度を始めました。いろいろな「好き」のかたちを知るきっかけとなる本を紹介し、

(山梨県立図書館 小林和美)

毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

女子サッカー選手です。そして、彼女がいます

下山田志帆著

サッカー選手の下山田さんは、2019年に彼女、つまり同性のパートナーがいると公表しました。下山田さんは小学生の頃は「男の子になりたい!」と思っていました。小学校3年生の時、「サッカーうまいから、おれのチームに入りなよ!」と誘われてサッカーを始めましたが、「女の子なのにサッカーするなんて変だよ!」「もっと女の子っぽくしなよ」などと周りから言われることがつらいと感じました。女の子が好きだと気づいたのは高校の時です。この本は、下山田さんが子どもの頃から「私は女? それとも男?」「女の子が好きなのは隠した方がいい?」と悩んできた経験や、「自分が生きたいと思う生き方でいいんだ」と思えるようになったきっかけを伝えます。(偕成社 1650円)



中学生向け

笹森くんのスカート

神戸遥真著 みずす画

高校1年生の2学期が始まった日、智也のクラスで注目を集めたのは笹森くんです。制服のスカートをはいて学校に来たからです。最初は「なんでスカートをはいてるんだろう」「罰ゲーム?」と思った智也ですが、同じ学年の男子から「笹森って、そういう感じなの?」「ほら、LGBTQ的な?」と聞かれ、「なんで隠すのをやめたんだろう」と、汗かきで悩んでいる自分と重ねて考え始めます。智也の次に、自分のアニメ声や家族の悩みを持つ文乃、カッコいい彼女が欲しいみず、美人であることを隠している一花から見た笹森くんが描かれ、最後の章では笹森くん自身が、スカートをはいた理由を明かします。その理由と、彼が気がついたこととは…? (講談社 1540円)

